

J-Node Hackathon April アンケート結果

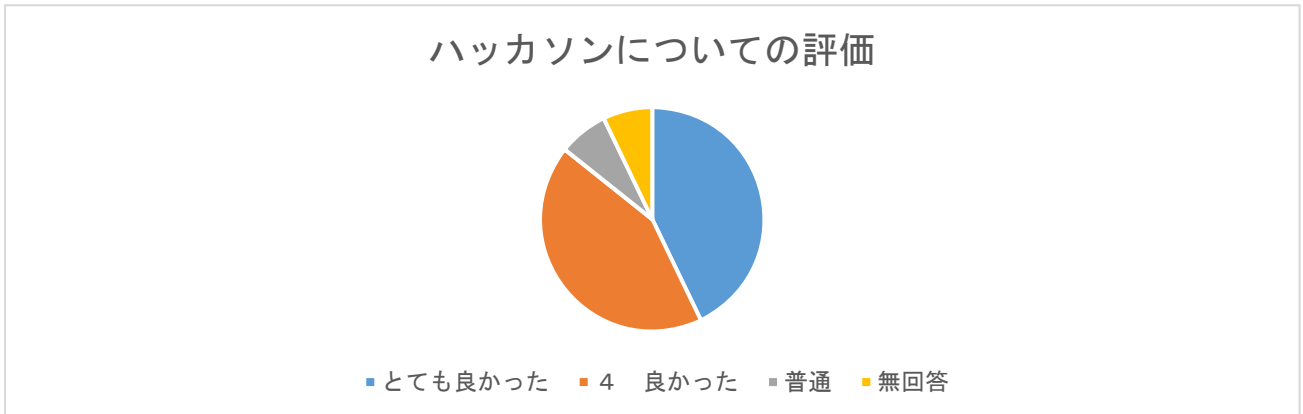
開催日時・場所：2016年4月9日 10:00~7日 16:30 大学セミナーハウス（八王子市）

参加者： 23 名（一部欠席を含む）

回答者： 14 名

【1】 このイベントについての評価

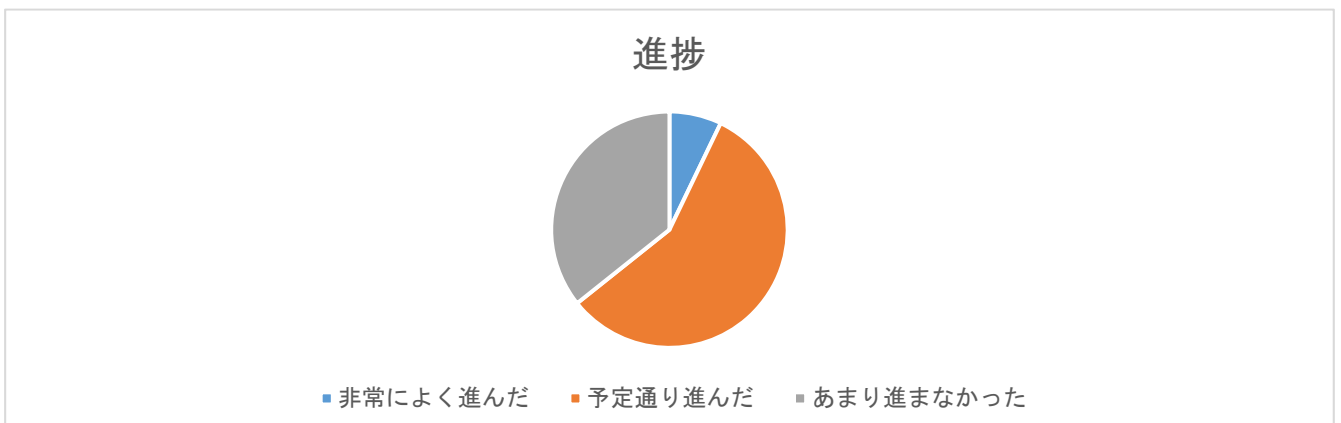
5（とても良かった） 6 / 4（良かった） 6 / 3（普通） 1 /
2（あまり良くなかった） 0 / 1（良くなかった） 0 / 無回答 1



【2】 今回のハッカソンで、回答者自身が行った内容についてご記述下さい

- ・システム環境整備。デバック
- ・J-Node PF と Garuda と連携させるガジェット作製
- ・registration 班のデータ提供、元データの処理法について説明
- ・D3.js を使ったメタデータ可視化ツールの作成（プログラミング）
- ・脳の領域から疾患や論文
- ・メタデータベースとの連携部分
- ・Web サービス立ち上げ プラグイン作成
- ・大量データの画像処理とデータ（output）の処理の学習
- ・ISH 画像を標準脳にレジストレーションし、遺伝子発現領域を。2800 以上の ISH 画像を処理
- ・自分はプログラミングはできないので、初日のアイデアソンだけ参加して、講演と、レジストレーションチームとオントロジーチームのそれぞれで打ち合わせに参加し、今回のハッカソンへのアイデア、アドバイス、検討などを行った。
- ・web 上で g3d ファイルをデータベースに登録・削除するプログラムの作成

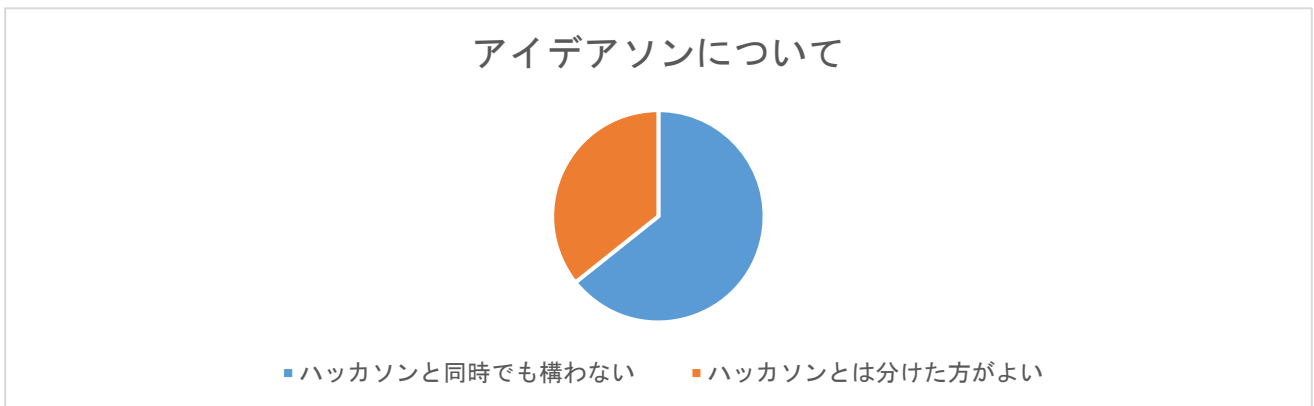
【3】 開発の進捗はいかがでしたか？



(コメント)

- ・ 非常によく進んだ
 - * 私自身は開発能力はなかったが、恵本さん、森井さんが積極的に取り組んでくれて、他のメンバーも協力的であったため。
- ・ 予定通り進んだ
 - * 6 ガジェット作成。
 - * D3.js が使いやすく開発が捗ったが、花粉症に苦しんだ。
- ・ あまり進まなかった
 - * 実は時間のかかる作業だった。
 - * 事務処理をしていたから。
 - * アイデアや事前調査に時間を使いすぎた。もう少し時間が欲しい。
 - * 開発環境の整理とそれまでの状況整理に追われたが、今後開発を継続するつながりはできた。

【4】 アイデアソン（講演、チーム分け）についてお聞かせ下さい



(コメント)

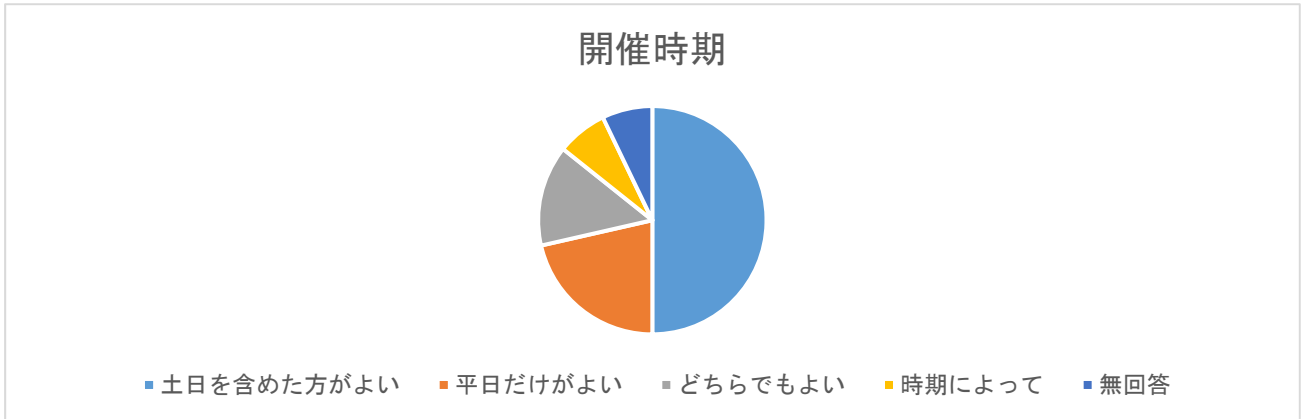
- ・ ハッカソンと同時でも構わない
 - * しかし開発項目についてはあらかじめある程度決めておいた方が良いと思う。
 - * 事前の準備や検討がある場合があるかもしれないので、テーマにもよると思われる。ただ、遠方の方は、アイデアソンとハッカソンが同時の方がいいのではと思う。
- ・ ハッカソンとは分けた方がよい
 - * 同時でもいいが、時間を多く取る必要がある。
 - * ハッカソンの時間が短かすぎる。

【5】 開催場所についていかがでしたか？

- ・ 悪い場所ではないが。
- ・ 若い人向きの施設で、食事の油がつかった。
- ・ 短期間の開催なので、便利な所（和光等）でもよかったのではないかな。
- ・ せまい。夏は危険そう。
- ・ 良い所でした。桜が見れたので嬉しかったです。
- ・ 昭和の雰囲気でした。少し手狭ですね。
- ・ 特になし。
- ・ 花粉症の人はつらそうだった。食事のボリュームが多かった。
- ・ 花粉がつかったです…春は注意が必要？
- ・ 結構不便、ネット環境が悪い。
- ・ 良い場所とは思ったが、少し遠く感じた。

- ・学生向けには良いだろう。施設が少し古い。
- ・私みたいにアイデアソンだけ参加ならば、少し遠いと感じた。また、NIJCの方達も、荷物の輸送運搬が大変なのではと思った。ただ、プログラミングの方たちは、いつもと違う環境でいい意味で気分変えて行えるのであれば、それはそれで良いと思った。
- ・最寄りのコンビニ等まで距離があって幽閉されている感が強く、作業に集中できた。
コアタイムの22時を過ぎてから自室に数名集まり作業していたが、同じ画面を見ながらの作業は自室ではしづらかった。作業スペースを24時間利用できるようにしてほしい。

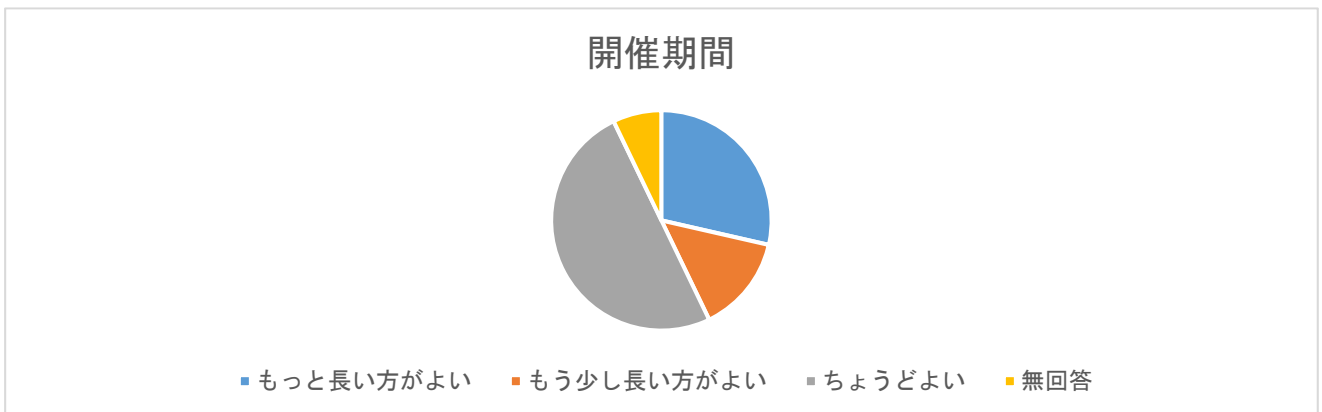
【6】 開催時期（曜日）はいかがでしたか？



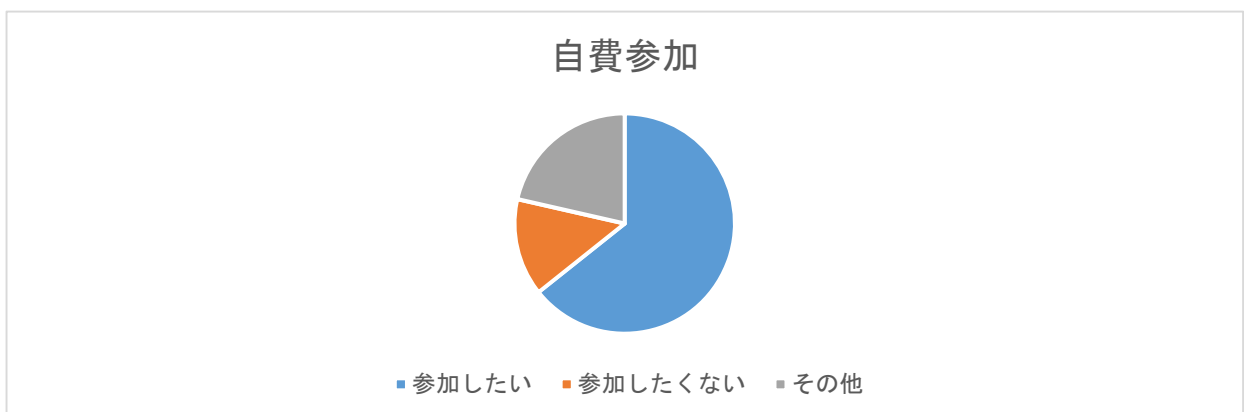
(コメント)

- ・時期によって、土日を含んでいる方が良い場合もある。
- ・土日を含めた方がよい。
*個人的には授業にかぶらなかつたので

【7】 開催期間はいかがでしたか？



【8】 費用について、今回神経情報基盤センターよりサポートをしましたが、次回より自費でも参加したいかどうかのご希望をお聞かせ下さい



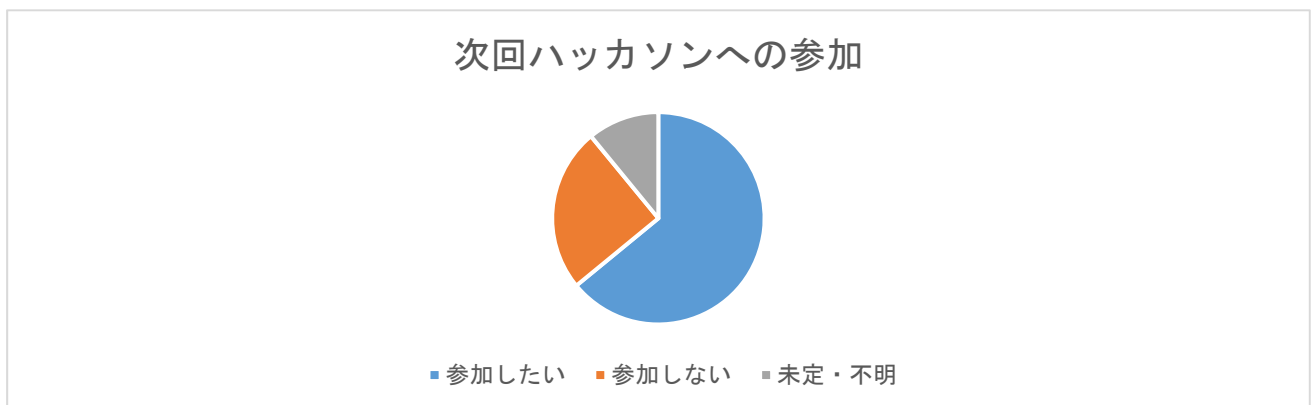
(その他)

- ・ ?場所と時間次第
- ・ テーマに寄ります
- ・ 自費は少し迷う

【9】 (前回ハッカソン参加者のみ) 前回と比較し、開催場所、設備、時期、期間、費用などについて、ご意見をお聞かせ下さい

- ・ 理研よりは隔絶されていて良いが、温泉などリラックスできるものが欲しい
- ・ 出かける事が良かった
- ・ 部屋がちょっと狭かった
- ・ 大きな荷物を運ぶのが大変でした。モニターなど。高低差あり道がよくないので
- ・ 宿泊設備と一緒になので、夜間も作業できたのは良い。設備、食事がやや poor
- ・ 私はアイディアソンだけだったので大丈夫でしたが、開発者のみなさんは、場所が少し狭いのでは、と感じた。

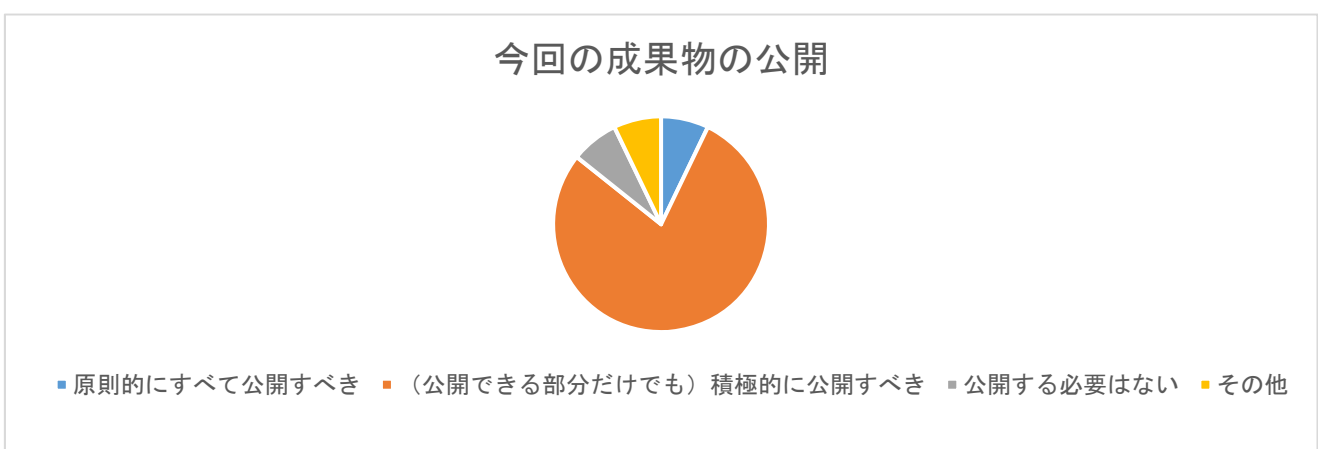
【10】 次回ハッカソン (NIDM との共催, 7月23~25日予定) に参加されますか？



【11】 (次回ハッカソン参加予定の方のみ) 次回のテーマについてご予定をお聞かせ下さい

- ・ メタデータ作成およびデータ (データベース) 統合
- ・ ISH 画像の発現量を測定する標準の輝量の測定
- ・ 今回の続き一論文用の図作成。マテメソ部分を書く。標準脳の Web 3D 表示システム
- ・ 未定・特になし (5名)

【12】 今回の開発成果物の公開についてお考えをお聞かせ下さい

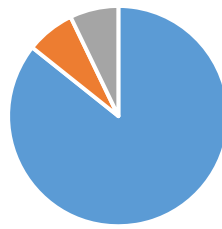


(その他)

- ・ ある程度まとまって論文化すれば、全公開してもよいと思う。でも、皆様の総合的判断にお任せします。

【13】 次回以降の開発成果物の公開についてお考えをお聞かせ下さい

次回の成果物の公開



■ (公開できる部分だけでも) 積極的に公開すべき ■ 原則的にすべて公開すべき ■ その他

(その他)

- ・ある程度まとめて論文化すれば、全公開してもよいと思う。でも、皆様の総合的判断にお任せします。

【14】 イベント全体に関してのご感想、ご意見お聞かせください

- ・非常によい試みだと思います。できるだけ参加するようにしたいと思いますが、自分自身の開発力が乏しいため、少しためらいがあります
- ・閉じたイベントにするのであれば、参加者の拠点を持ちまわりで企画するのもよい。開発できる会議室は基本的に24時間使えるとよい。海外参加も含め、オープンなイベントにするのであれば、会場はある程度交通の便のわるい(帰りにくい)ところで、一週間程度開催するのがよい。より多くの多様な研究者を参集できれば、脳インフォマティクスの広がりや進展が期待できる半面、魅力的な場所を用意するなど費用の問題も発生すると思うが、コミュニティが出来上がれば、有料でも参加する研究者は開発の楽しさを求めて集まると思う。イベントの進め方については、誰が何にとりくんでいるのか見づらいので、wikiを用意して進捗を書いてもらったり、大きな紙に書いて掲示してもらおうなどの工夫があるとよい。高速なネットワーク、どこでもつながるWifiは必須で、これまで参加したインフォマティクスの会議では、東京圏なら湘南国際村が良かったと記憶している。この点については今回部屋でWifiが弱く不便があった。定期開催がHackathonでは重要(特に進捗共有の意味で)なので継続していただけるとありがたいです。
- ・サポート係が全くいないのは大変。
- ・集合写真は初日の参加者が最も多い日が良かった。季節的に花粉症の人が大変そうだった。
- ・データとデータベースを使っていただいてありがとうございます。ViBrism DBがどんどん良くなっているのを実感できて、良かったです。連携の重要性を改めて感じました。
- ・楽しく開発ができました。新しい知識も得られて良かったです。
- ・この季節の山は、花粉症の方には本当に辛そうでした
- ・アイデア決めは、当日参加までに決めておいたほうが良いように思います。
- ・片付けなど一部の人に負担がかかっていたのでは、と思います
- ・AとBのセミナー室の行き来は案外面倒でした。鍵の返却、皿等返却に何度も本館に行くことになり面倒でした(宿泊室、セミナー室A,Bとそれ毎に)
- ・BBQエリアに蚊がいました。夏は大変そうです
- ・GarudaPlatformが面白そう、使ってみたい。
- ・時間の制限がきびしい。閉まる時間、開く時間、ごはんの時間など。気分転換がなかった。なにもないというのもいいけど、やっぱりなにかしたい。ただ、全体の時間が短いとハックする時間が減るのでむずかしい。ごはんがあんまりおいしくなかった。

- ・ 様々なプログラマーの方々にお会いでき感動しましたが、開発内容について詳細に公開できるか、まだ自信が持てないです。イベントに関しては目的の整理や意見や情報の交換ができ、素晴らしい機会であると思っております。
- ・ 使ったことのない言語でのプログラミング、初対面の方と数日で親密になる経験、外国の方との共同開発と、初めてのことばかりでしたが、非常に楽しませていただきました。新しい分野の能力や知見を少し身に付けさせていただいたので、今後それを活かすことができないか考えていきたいです。